

2010

Jリーグ選手等ホームタウン活動調査

社団法人 日本プロサッカーリーグ

目次

■概要

リーグ全体傾向分析

- 2010年全体傾向サマリー
- サマリー(データ)
- 活動ジャンル別サマリー
- 活動ジャンル(2010年内訳、2007年/2008年/2009年/2010年比較)
- 活動対象者(1)(2010年内訳、2007年/2008年/2009年/2010年比較)
- 活動対象者(2)(2010年活動ジャンル×対象者、対象者数内訳)
- 活動主催団体(1)(2010年内訳、2007年/2008年/2009年/2010年比較)
- 活動主催団体(2)(2010年活動ジャンル×主催団体)
- 活動場所(1)(2010年内訳、2007年/2008年/2009年/2010年比較)
- 活動場所(2)(2010年活動ジャンル×活動場所)
- 活動月(2010年活動月、2010年活動ジャンル×活動月)
- 選手の活動(2010年活動回数分布、活動時間分布(2009年比較))
- 監督・コーチ・社長の活動(2009年/2010年活動数、活動ジャンル内訳)

クラブ別傾向分析

- 活動回数増減比率
- クラブランキング
- 活動ジャンル傾向(1)(サマリー)
- 活動ジャンル傾向(2)(データ)
- 活動対象者傾向(1)(サマリー)
- 活動対象者傾向(2)(データ)
- 活動時間の多い選手(上位3位)

クラブシート

- コンサドーレ札幌
- ベガルタ仙台
- モンテディオ山形
- 鹿島アントラーズ
- 水戸ホーリーホック
- 栃木SC
- ザスパ草津
- 浦和レッズ
- 大宮アルディージャ
- ジェフユナイテッド千葉
- 柏レイソル
- FC東京
- 東京ヴェルディ
- 川崎フロンターレ
- 横浜F・マリノス
- 横浜FC
- 湘南ベルマーレ
- ヴァンフォーレ甲府
- アルビレックス新潟
- カターレ富山
- 清水エスパルス
- ジュビロ磐田
- 名古屋グランパス
- FC岐阜
- 京都サンガF.C.
- ガンバ大阪
- セレッソ大阪
- ヴィッセル神戸
- ファジアーノ岡山
- サンフレッチェ広島
- 徳島ヴォルティス
- 愛媛FC
- アビスパ福岡
- ギラヴァンツ北九州
- サガン鳥栖
- ロアッソ熊本
- 大分トリニータ

■目的など

- ・選手のホームタウン活動への参加状況を、選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

■調査対象

- ・2010年シーズンJ1/J2所属の37クラブによる、トップチームの選手(2種登録含む)、監督・コーチ、社長(理事長)が参加したホームタウン活動

■調査方法

- ・2010年1月～12月に行われたホームタウン活動について、各クラブのホームタウン担当がアンケートに入力
- ・質問項目
 - ①名称・活動内容 ②開催場所 ③開催時期 ④開催状況(終了/実施中/予定) ⑤開催回数
 - ⑥クラブ参加者・人数(選手/監督・コーチ/社長) ⑦参加者人数計 ⑧対象者区分・人数 ⑨活動主体
 - ⑩主な協力団体・分類 ⑪各選手活動時間

■留意点

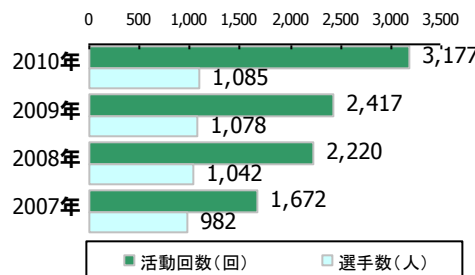
- ・全体の傾向分析のうち、p.6「活動ジャンル別サマリー」～p.15「選手の活動」については、選手もしくは監督・コーチが参加した活動を対象にしている。社長が行った活動はp.16でまとめている。

リーグ全体傾向分析

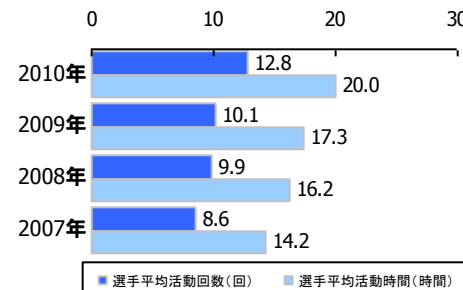
2010年全体傾向サマリー

・2010年の選手等(監督・コーチを含む)ホームタウン活動の活動総数は3,177回となり、09年の2,417回に対し31.4%増となった。参加した選手数は1,085人で2009年の1,078人から7人の増加(クラブ数は09年は36、10年は37)、選手1人当たりの平均活動回数は12.8回(2009年は10.1回)、平均活動時間は20.0時間(同17.3時間)と、いずれも前年を上回った。

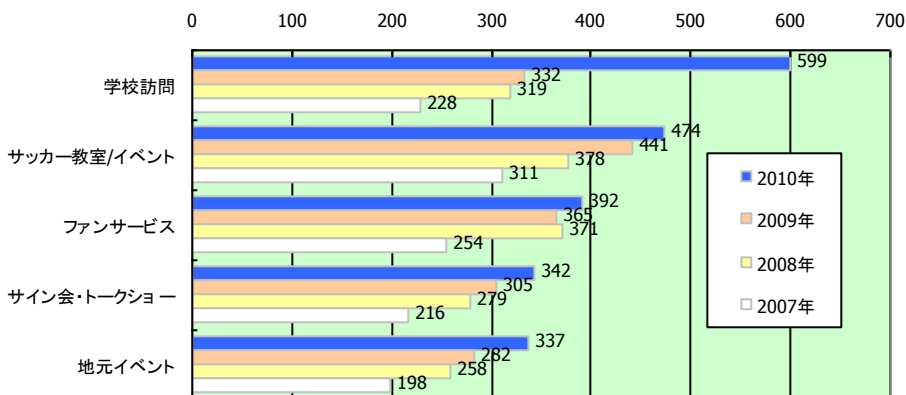
<2010年活動総数、活動選手数>



<2010年選手平均 活動回数、活動時間>



<活動ジャンル別 活動推移数(活動上位5ジャンル)>



・活動数は多い順に、「学校訪問」が599回、「サッカー教室/イベント」が474回、「ファンサービス」が392回、「サイン会・トークショー」が342回、「地元イベント」が337回となった。
2007年から3位だった「学校訪問」が大きく伸び、1位となっている。
上位5ジャンルは、いずれも増加傾向。「学校訪問」以外の順位変動はなし。

・「学校訪問」活動数の増加により、「小学生以下(1,141回)」とのふれあった回数も大きく伸びた。09年はほぼ同数だった対象者ジャンル2位の「ファン/サポーター(795回)」との差も開いている。
他、「表敬訪問」も09年より増加しており、それによって「スポンサー」、「行政」を対象とした活動が増えた。(p.8参照)

・上位4ジャンルを筆頭に、「クラブ」主催のイベントが多く、「クラブ」主催イベント合計活動数は2,066回。2007年から増加し続けており、2007年(967回)に比べて2.1倍となった。クラブ主体比率も年々増加している。クラブがホームタウン活動にここ数年、積極的に取り組んでいることがわかる。(p.10参照)

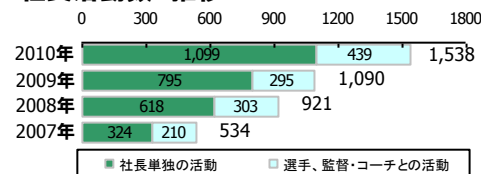
・「行政」や「自治会・商店街」が主催となっている「地元イベント」への参加にも協力的で年々増加しており、地域との連携も深まっていると考えられる。(p.11参照)

・「学校」での活動が最も多い。「学校訪問」以外に、「サッカー教室/イベント」の会場として使っている。(p.12、13参照)

・活動時期は、6月-7月と10-12月にピークがあり、6月、10月に「学校訪問」、7月、12月に「表敬訪問」、12月に「サッカー教室/イベント」が他の月に比べて多く実施されている。6月-7月はワールドカップ開催による中断期。(p.14参照)

・選手以外では、社長活動数の増加が目立つ。
社長単独の活動が2009年から4割近く増え、1,099回。一方、選手や監督・コーチとの同行活動数は微増で439回となっている。2007年から年々増加している。(p.16参照)

<社長活動数 推移>



■選手/監督・コーチの活動総数： 3,177回/年
(2009年:2,417回/年)
(2008年:2,220回/年)
(2007年:1,672回/年)

■参加選手総数： 1,085人/年
(2009年:1,078人/年)
(2008年:1,042人/年)
(2007年:982人/年)

■1クラブ平均活動回数： 85.9回/年、7.2回/月
(2009年:67.1回/年、5.6回/月)
(2008年:67.3回/年、5.6回/月)
(2007年:53.9回/年、4.5回/月)

■選手延べ活動時間： 21,708.2時間/年
(2009年:18,693.8時間/年)
(2008年:16,882.6時間/年)
(2007年:14,419.4時間/年)

■社長の活動総数： 1,538回/年
(2009年:1,090回/年)
(2008年:921回/年)
(2007年:534回/年)

■選手平均活動回数： 12.8回/年
(2009年:10.1回/年)
(2008年:9.9回/年)
(2007年:8.6回/年)

■社長の1クラブ平均活動回数： 41.6回/年
(2009年:30.3回/年)
(2008年:27.9回/年)
(2007年:16.9回/年)

■選手平均活動時間： 20.0時間/年
(2009年:17.3時間/年)
(2008年:16.2時間/年)
(2007年:14.2時間/年)

活動ジャンル別サマリー

サイン会/トークショー (10.8%)

- ・2007年から増加傾向。
- ・約8割がファン/サポーターを対象にしている。
- ・クラブの主催が大半だが、スポンサーの主催で行うものも約13%を占める。
- ・スタジアムで開催するケースが6割程度、街頭/商業施設で行うケースが約3割。
- ・シーズン中の3月～11月はコンスタントに行われている。

ファンサービス (12.3%)

- ・2009年から活動数は微増。
- ・80%以上がファン/サポーターを対象とした活動。他の対象は小学生(のファン)や不特定(街頭でのイベント)など。
- ・クラブの主催が大半を占める。
- ・スタジアムで開催されることが多く、約6割を占める。街頭/商業施設、クラブ施設のケースもあり。
- ・年間通して行っているが、中でも8月の活動数が最も多く、11月、12月が続く。

支援団体/ボランティア向けイベント(1.6%)

- ・活動数は2009年から微増。
- ・半数以上がクラブ主催、4割が後援会自ら主催している。
- ・スタジアムで開催するケースが最も多いが、一般貸しスペースで行うケースも多い。
- ・12月の活動数が最も多い。

スポンサーイベント (1.4%)

- ・2009年と活動数はほぼ変わらず。
- ・クラブが主催となっているケース以外に、スポンサー自身が主催の場合もある。
- ・主に一般貸しスペースを利用して開催しているが、企業、スポーツ施設、クラブ施設での開催もある。
- ・Jリーグのシーズン前後の2月、12月の活動数が多い。

地元イベント (10.6%)

- ・2007年度より毎年増加傾向にある。
- ・地域住民を対象にしたものが半数以上で、次に不特定の人を対象にしたイベントが続く。
- ・行政主催のイベントが約3割を占め最も多く、このほか自治会/商店街やスポンサー、地域の実行委員会のものもある。
- ・街頭/商業施設で全体の4割が行われ、次いで、スポーツ施設/公園で行われるケースも多い。
- ・7月、10月の活動が多い。

サッカー教室/イベント(14.9%)

- ・2009年から活動数は増加。ただし、過去3年間活動数が最も多かったが、2010年は2位となった。
- ・小学生以下の児童を対象にしたものが3/4以上を占め、その保護者や中学生以上を対象としたものもある。
- ・約4割をクラブが主催、スポンサー、行政も15%前後主催している。
- ・スポーツ施設/公園で実施するものが最も多く、学校、スタジアム、クラブ施設と続く。
- ・12月の活動数が最も多く、次いで8月も多い。

学校訪問 (18.9%)

- ・2007年から増加傾向にあり、2010年は初めて最も多い活動となった。
- ・9割弱が小学生以下の児童を対象とした活動で、幼稚園への訪問も含まれる。中学生以上を対象としたものもある。
- ・クラブ主催が8割以上を占めるが、学校、行政主催の場合もある。
- ・ワールドカップ中断期でもある6月の活動数が最も多く、10月が続く。

介護福祉活動 (5.2%)

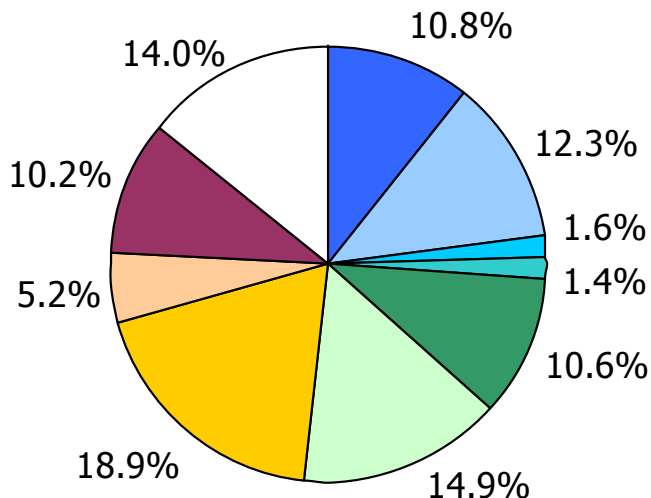
- ・活動数は2009年より増加。
- ・半数以上が高齢者や障がい者を対象とした活動。養護学校の生徒など小学生以下を対象にした活動も多い。
- ・クラブが主催する活動が多いが、福祉団体等が主催するものもある。
- ・福祉施設や病院で行われる活動がほとんどで、施設の小学生の試合招待イベントでスタジアム、介護予防事業や障がい者サッカーなどスポーツ施設/公園での開催も見られる。
- ・12月の活動が最も多い。慰問活動が多く実施されている。

表敬訪問 (10.2%)

- ・活動数は2007年から毎年増加しており、特に2010年は2009年比で2倍以上と急増した。
- ・行政とスポンサーが対象であるが、スポンサーを対象としたものが2009年比で3倍以上に増えており、行政対象の活動数を上回った。
- ・シーズン終了の12月、ワールドカップ中断期の7月に活動数が多い。

活動ジャンル

◆2010年 内訳



- サイン会・トークショー
- 支援団体・ボランティア関連活動
- 地元イベント
- 学校訪問
- 表敬訪問
- ファンサービス
- スポンサーイベント
- サッカー教室/イベント
- 介護福祉活動
- その他

・最も多い活動は「学校訪問」で、全体の中の約2割を占める。

・以下、「サッカー教室/イベント」、「ファンサービス」、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」と続く。

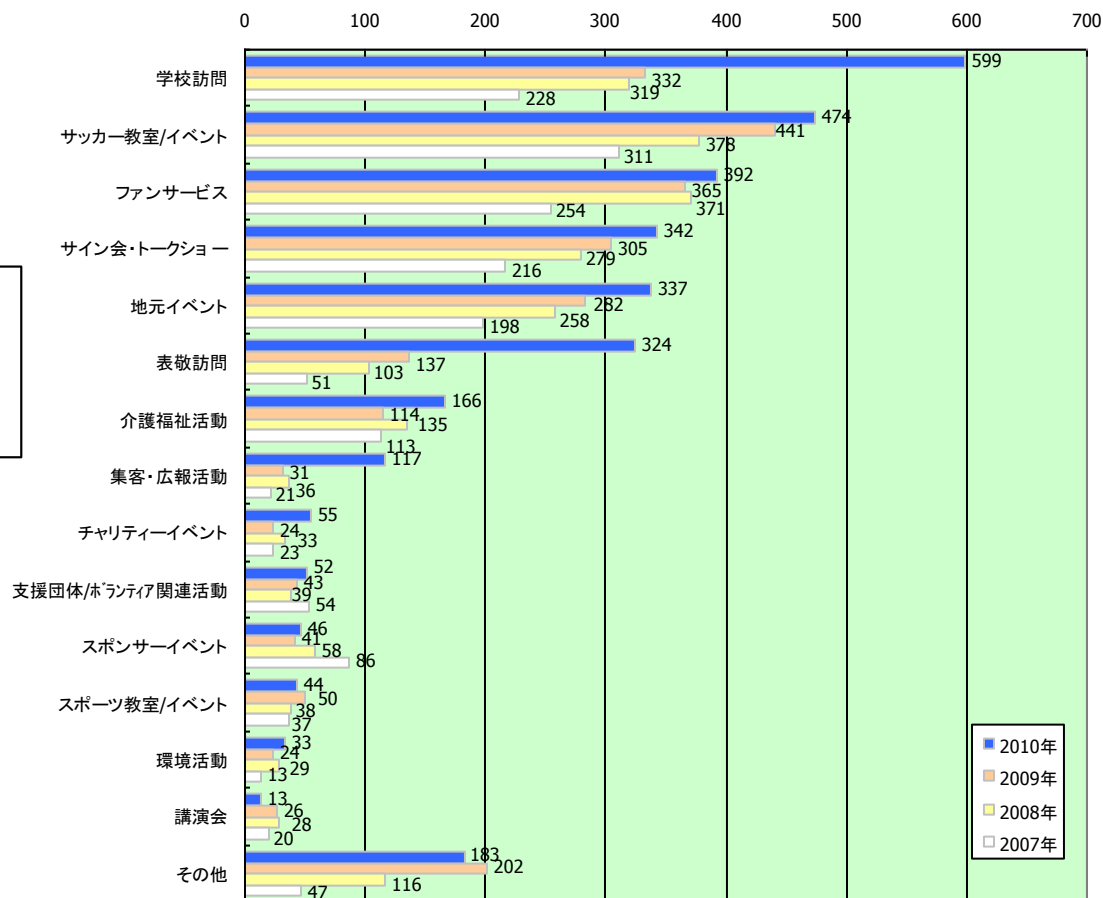
・「その他」の活動には、「集客・広報活動」、「チャリティイベント」、「スポーツ教室/イベント」、「環境活動」のほか「食育」や「必勝祈願」、「商店会/サポーターティングショップ挨拶回り」も含まれる。

◆2010年/2009年/2008年/2007年比較

・「学校訪問」は2009年から8割増加しており、「サッカー教室/イベント」、「ファンサービス」を抜いて、2010年最も多い活動となった。

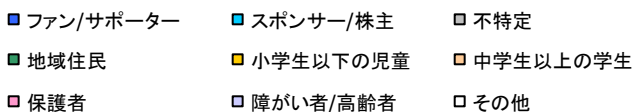
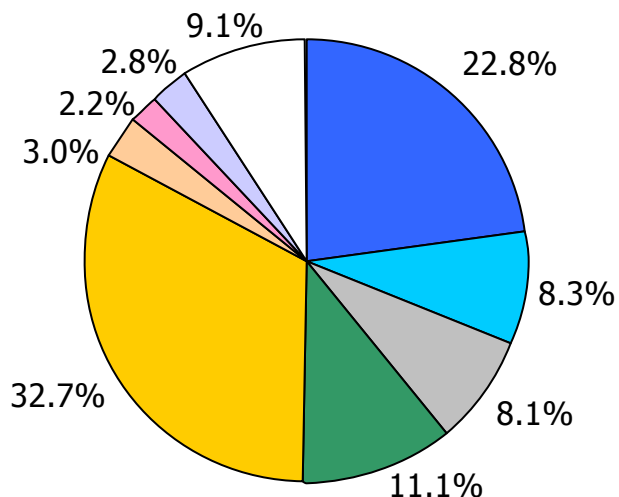
・活動の多い上位5ジャンルのラインナップは変わらない。

・「表敬訪問」も2009年比で2倍以上に増加している。また「集客・広報活動」も増加。



活動対象者(1)

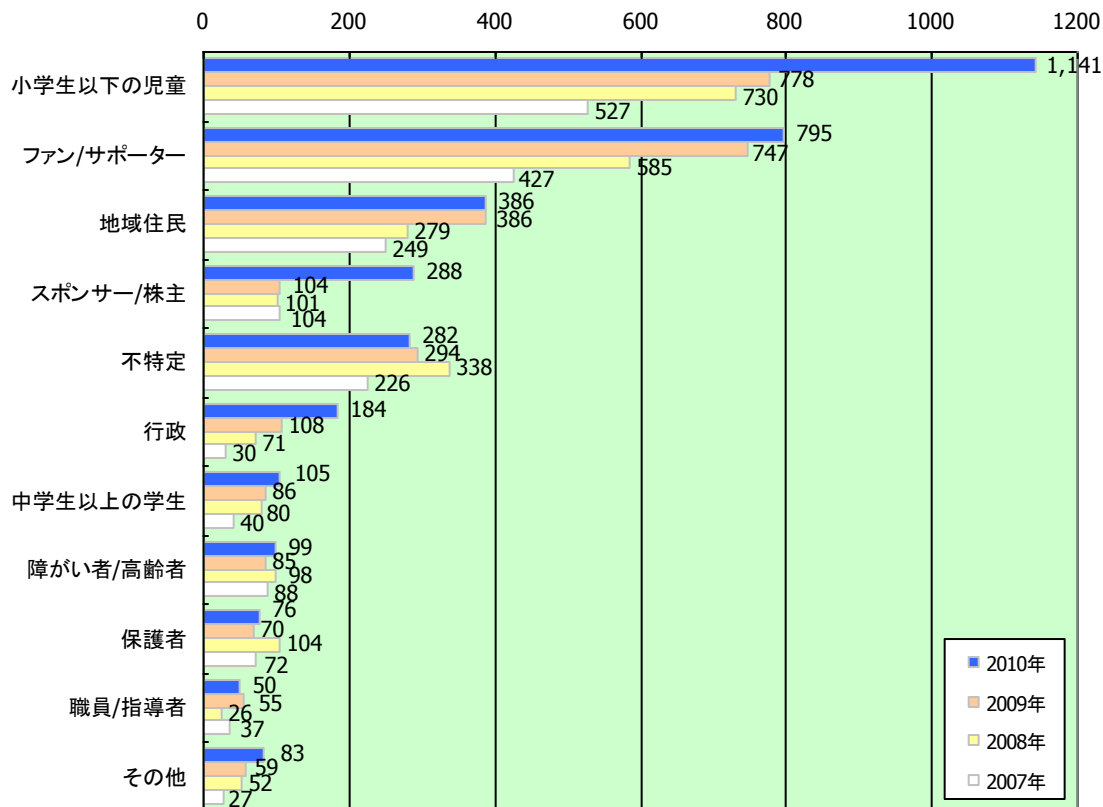
◆2010年 内訳



- 最も多い活動対象者は「小学生以下の児童」で全体の1/3。2番目は「ファン/サポーター」で、上位2つが突出している。
- 次に多い対象者は「地域住民」で、「スポンサー」が続く。
- 「その他」は、知事や市長などの「行政」や「ボランティア」、「支援団体」などが含まれる。

◆2010年/2009年/2008年/2007年比較

- 2007年以降、「小学生以下の児童」と「ファン/サポーター」の上位2つが突出している傾向が続いている。特に「小学生以下の児童」は2009年から大きく伸び、1,000回を超えた。
- 「スポンサー/株主」、「行政」も2009年に比べ大きく伸びている。



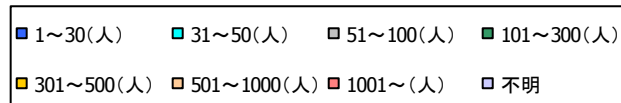
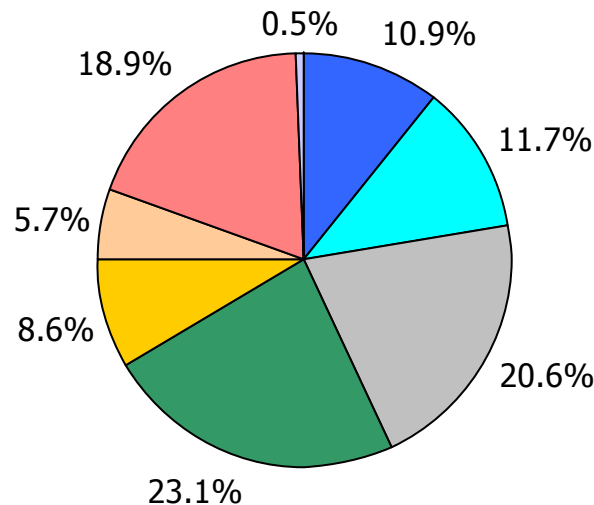
活動対象者(2)

◆2010年 活動ジャンル×対象者

- ・「小学生以下」を対象にした活動で、2008年、2009年最も多かった「サッカー教室/イベント」も活動数は増え続けているが、「学校訪問」が2009年から大きく伸び、全活動の中でトップとなった。
- ・「学校訪問」は「小学生以下」だけでなく「中学生以上」を対象とした活動も増えている。
- ・「サッカー教室/イベント」は「小学生以下」を対象にしたものが多いが、同時に「保護者」も対象としたものも1割程度ある。
- ・「介護福祉活動」の対象は「障がい者/高齢者」だけでなく、「小学生以下」もほぼ同数で実施している。

	ファン/ サポーター	スポンサー/ 株主	不特定	地域住民	小学生 以下	中学生 以上	保護者	障がい者/ 高齢者	行政	職員/ 指導者	その他	合計
サイン会・トークショー	277	0	40	31	2	2	0	0	0	0	2	354
ファンサービス	335	1	18	14	26	0	1	15	1	0	10	421
支援団体・ボランティア関連活動	28	0	0	2	0	0	0	0	1	0	23	54
スポンサーイベント	2	46	0	0	0	0	0	0	2	0	2	52
地元イベント	18	16	100	174	23	6	7	1	6	1	7	359
サッカー教室/イベント	13	4	10	12	411	26	51	0	2	4	6	539
スポーツ教室/イベント	2	0	14	11	13	1	1	1	3	0	0	46
学校訪問	0	0	1	3	551	48	5	0	0	22	0	630
介護福祉活動	4	0	2	0	75	10	2	77	2	20	5	197
表敬訪問	0	188	11	11	0	0	0	0	137	0	0	347
講演会	0	1	2	4	0	2	1	0	1	2	0	13
チャリティーイベント	31	2	9	5	3	0	0	2	0	0	6	58
環境活動	6	1	12	9	5	1	0	1	0	0	2	37
集客・広報活動	61	8	34	74	0	2	0	0	0	0	0	179
その他	18	21	29	36	32	7	8	2	29	1	20	203
合計	795	288	282	386	1,141	105	76	99	184	50	83	3,489

◆2010年 内訳



・「101~300人」規模の活動が最も多く、「51~100人」、「1001~人」と続く。

・活動数上位ジャンルの「学校訪問」、「サッカー教室/イベント」、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」は、「101~300人」または「51~100人」を対象とするものが多い。

・「1001人～」の活動は、スタジアムでの「ファンサービス」や街頭/商業施設での「集客活動」の比率が高い。

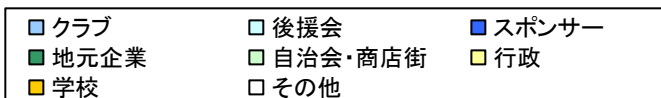
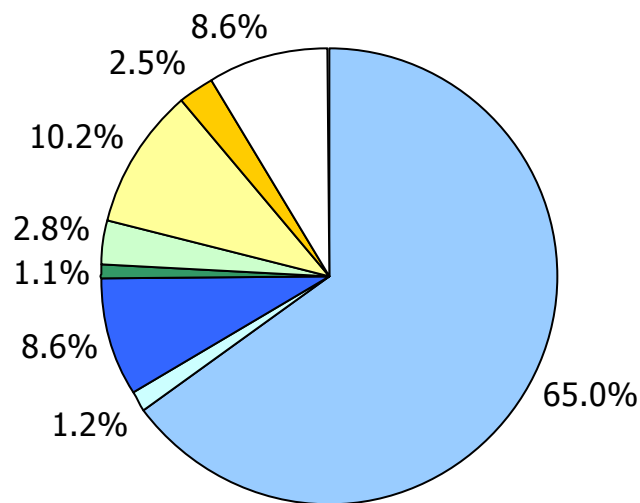
・「1~30人」は、「介護福祉活動」や「表敬訪問」の比率が高い。

■ : その活動ジャンルで最も多い □ : その活動ジャンルで2番目に多い ※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

※1つの活動について対象者は2つまで選択できるため、左表の「合計」は「合計活動数」を上回る。

活動主催団体(1)

◆2010年 内訳



・クラブが主体となる活動比率は全体の65%を占めている。

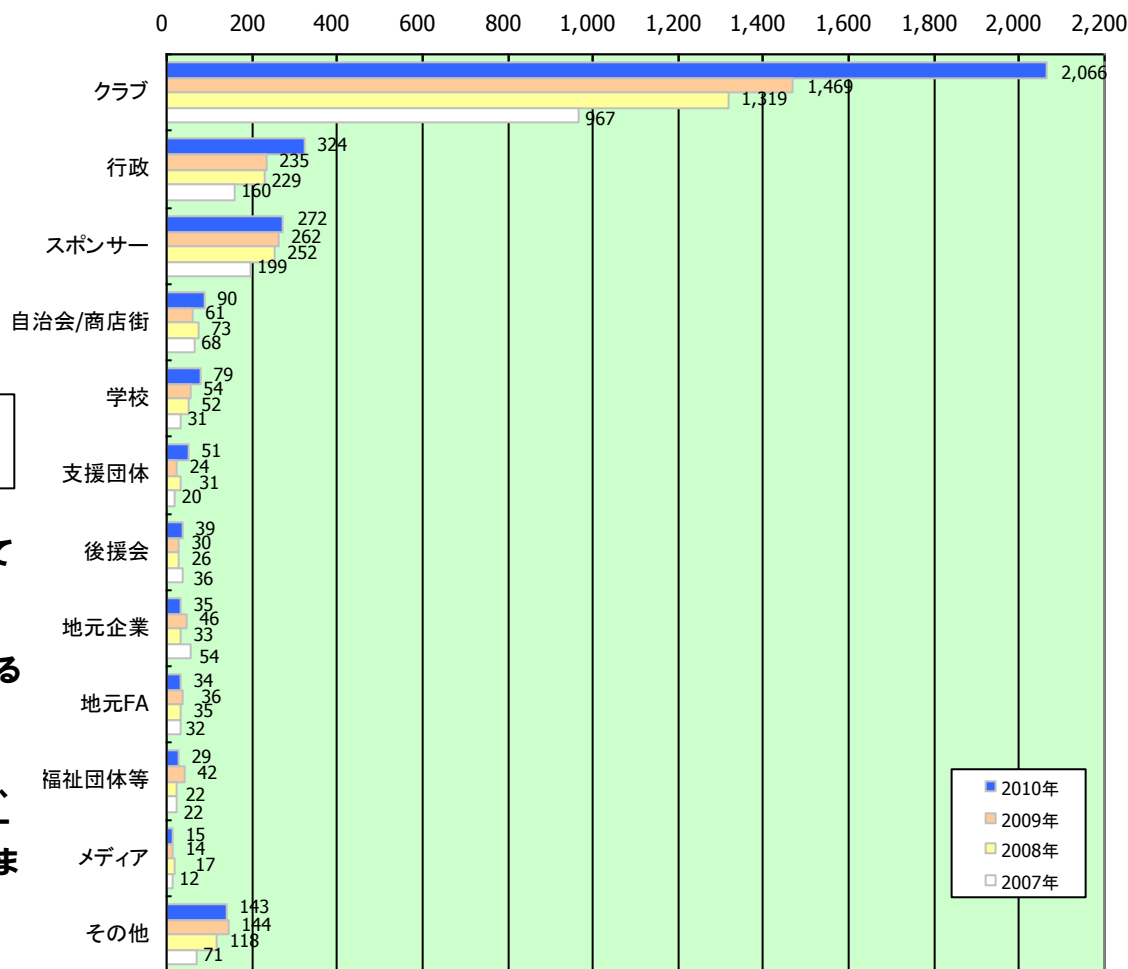
・その他の主催団体では、「スポンサー」、「行政」による活動が多く、ともに10%前後。

・「その他」には、「地元FA」や「福祉関係」、「メディア」、「リーグ/JFA」のほか、「他スポーツ団体/少年サッカークラブ」、地元で組織された「実行委員会」などが含まれる。

◆2010年/2009年/2008年/2007年比較

・クラブ主催の活動は毎年増加傾向にあり、全体に占める「クラブ」の割合も2007年より10ポイント増加した。

・「行政」主催活動も年々増加。「スポンサー」は2009年とほぼ同様の活動数である。



活動主催団体(2)

◆2010年 活動ジャンル×主催団体

- ・「地元イベント」、「スポーツ教室/イベント」、「講演会」を除くすべての活動は、「クラブ」が主催するケースが最も多い。「クラブ」主催の活動は多い順に、「学校訪問」、「ファンサービス」、「表敬訪問」、「サイン会・トークショー」、「サッカー教室/イベント」。
- ・「スポンサー」主催の活動も多い。最も多いのは「サッカー教室/イベント」で、「地元イベント」、「サイン会・トークショー」と続く。
- ・「地元イベント」、「スポーツ教室/イベント」は、「行政」が主催しているものが多い。

	クラブ	後援会	スポンサー	地元企業	自治会/ 商店街	行政	学校	地元FA	福祉団体等	その他	合計
サイン会・トークショー	265	1	45	6	2	6	2	1	0	14	342
ファンサービス	336	6	21	2	2	8	1	0	0	16	392
支援団体・ボランティア関連活	28	20	0	0	0	1	0	0	0	3	52
スポンサーイベント	39	2	5	0	0	0	0	0	0	0	46
地元イベント	0	3	71	16	73	108	13	0	3	50	337
サッカー教室/イベント	203	4	76	6	8	64	6	32	4	71	474
スポーツ教室/イベント	5	0	7	0	1	21	0	0	1	9	44
学校訪問	498	2	0	0	2	39	44	0	0	14	599
介護福祉活動	133	0	4	0	0	6	4	0	13	5	165
表敬訪問	313	0	3	0	0	8	0	0	0	0	324
講演	0	0	3	0	0	5	2	0	0	3	13
チャリティイベント	32	1	3	1	0	1	0	0	6	11	55
環境活動	13	0	1	1	1	13	1	1	1	1	33
その他	86	0	33	3	1	44	6	0	1	10	184
集客・広報活動	115	0	0	0	0	0	0	0	0	2	117
合計	2,066	39	272	35	90	324	79	34	29	209	3,177

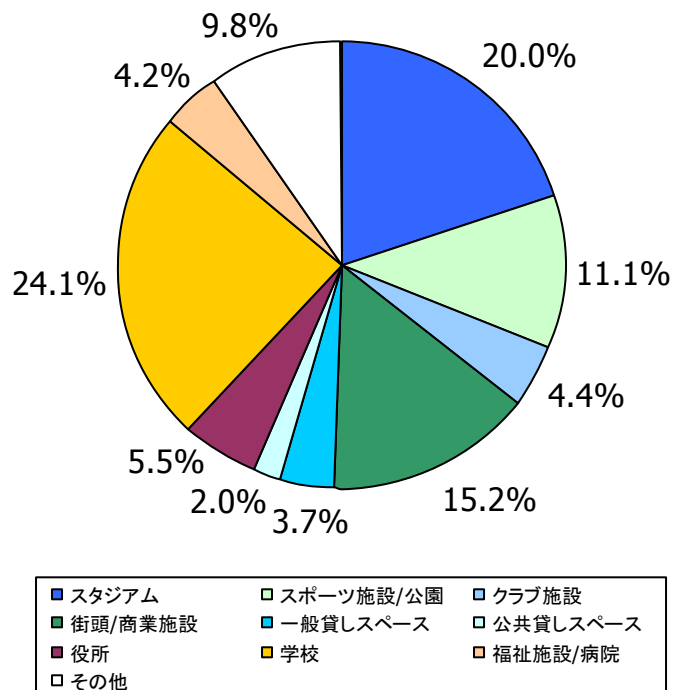
■ :その活動ジャンルで最も多い

■ :その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動場所(1)

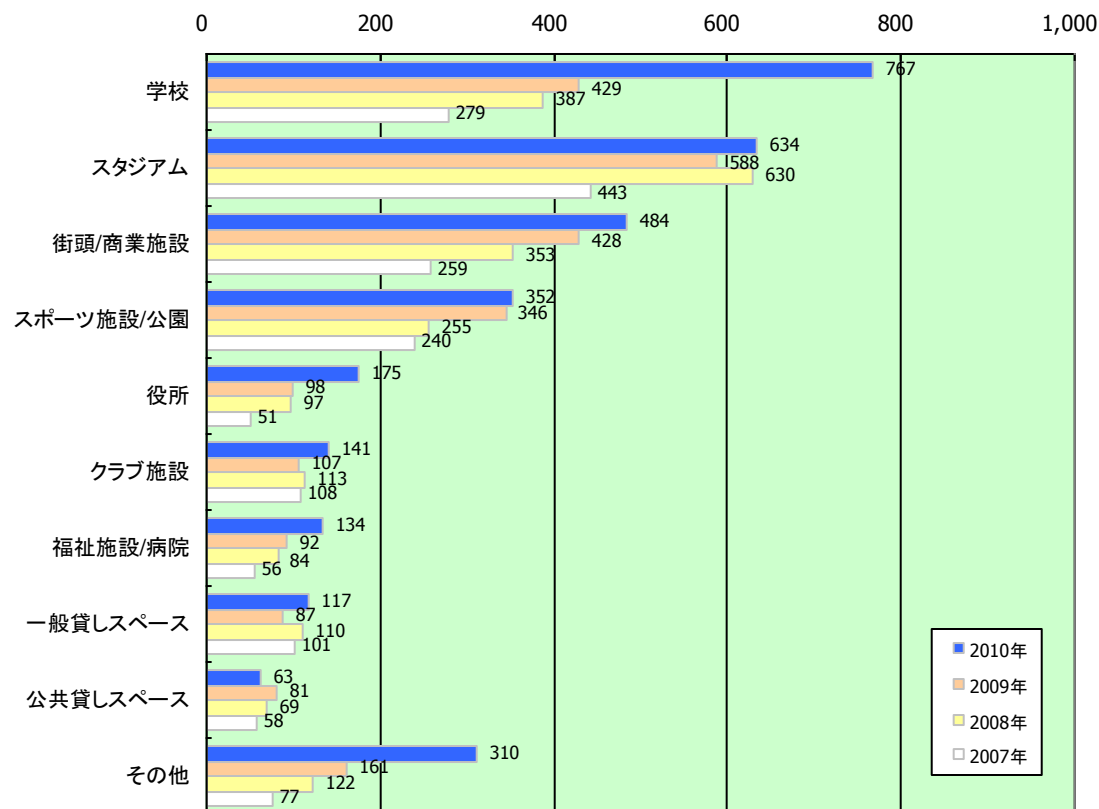
◆2010年 内訳



- ・「学校」での活動が最も多く、全体の約1/4を占める。
- ・次に多いのは「スタジアム」で2割、「街頭/商業施設」と続く。
- ・「その他」の場所には、企業や、神社、河川敷、図書館などが含まれる。

◆2010年/2009年/2008年/2007年比較

- ・2007年から3年連続で「スタジアム」での活動が最も多かったが、「学校訪問」、「サッカー教室」の増加により、「学校」が最多となった。
- ・「スタジアム」、「街頭/商業施設」での活動も、2009年より増加。
- ・他に、「役所」、「企業」(「その他」に含まれる)も、2009年に比べ相当数増加している。



活動場所(2)

◆2010年 活動ジャンル×活動場所

- ・「学校」は、「学校訪問」が主な活動ではあるが、「サッカー教室/イベント」でも多く使われており、また「地元イベント」の会場にもなっている。
- ・「街頭/商業施設」は、「地元イベント」の開催場所として多いが、「集客・広報活動」や「サイン会・トークショー」も実施している。
- ・「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」は「スタジアム」の開催が主となっているが、「街頭/商業施設」での開催も多く見られる。
- ・「サッカー教室/イベント」は、「スポーツ施設/公園」での開催が最も多いが、他に「スタジアム」、「クラブ施設」、「学校」でも行っている。

	クラブ施設	スタジアム	スポーツ施設/公園	一般貸しスペース	街頭/商業施設	学校	公共貸しスペース	福祉施設/病院	役所	企業	その他	合計
サイン会・トークショー	11	209	6	2	99	2	12	0	0	1	0	342
ファンサービス	33	243	16	25	55	4	6	1	4	1	4	392
支援団体・ボランティア関連活動	5	19	0	11	5	0	6	0	2	1	3	52
スポンサーイベント	2	1	4	36	0	0	0	0	0	3	0	46
地元イベント	0	6	44	27	142	34	23	8	10	16	27	337
サッカー教室/イベント	54	70	215	8	11	102	2	0	2	6	4	474
スポーツ教室/イベント	1	7	22	0	6	4	0	0	3	0	1	44
学校訪問	0	1	2	0	0	596	0	0	0	0	0	599
介護福祉活動	4	21	12	0	1	1	4	122	1	0	0	166
表敬訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	141	183	0	324
講演会	0	0	0	3	0	3	4	1	0	2	0	13
チャリティーイベント	8	24	5	0	12	2	1	1	1	0	1	55
環境活動	0	3	5	0	13	5	0	0	0	0	7	33
集客・広報活動	0	0	0	1	104	1	0	0	0	8	3	117
その他	23	30	21	4	36	13	5	1	11	4	35	183
合計	141	634	352	117	484	767	63	134	175	225	85	3,177

:その活動ジャンルで最も多い
 :その活動ジャンルで2番目に多い
 ※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

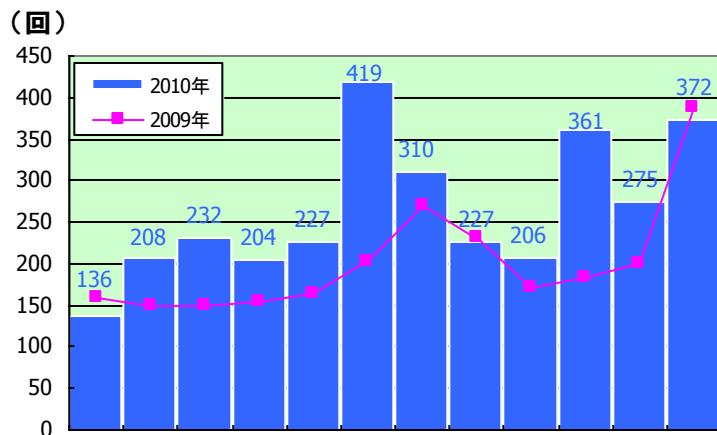
活動月

◆2010年/2009年比較

・最も活動が多いのは6月で、2009年同月比で2倍以上となった。ワールドカップ開催のためのリーグ戦中断期で各クラブが積極的に活動したと見られる。

・シーズン後半の10月、12月にも活動数のピークがある。12月は2009年とほとんど変わらないが、10月は2倍程度に増えている。

・オフシーズンの1月が最も活動が少ない。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
J1リーグ戦			3/6~5/16				7/14~12/4					
J2リーグ戦			3/6~6/13				7/17~12/4					
ヤマサキ ナビスコカップ			3/31~6/9				●準々決 (9/1, 9/8)	●準決 (9/29, 10/10)	●決勝 (11/3)			
その他		●ゼロックス杯(2/27)										

◆2010年 活動ジャンル×活動月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
サイン会・トークショー	11	10	27	41	40	38	27	35	29	38	34	12	342
ファンサービス	23	26	33	30	40	21	30	47	26	28	44	44	392
支援団体・ボランティア関連活動	3	4	4	1	4	6	5	3	5	1	5	11	52
スポンサーイベント	3	14	5	2	1	3	0	0	2	1	4	11	46
地元イベント	13	11	10	21	21	21	60	47	21	55	32	25	337
サッカー教室/イベント	25	19	29	12	39	47	43	52	39	49	41	79	474
スポーツ教室/イベント	1	1	1	2	4	3	5	3	5	11	5	3	44
学校訪問	5	23	19	43	43	179	40	5	33	114	57	38	599
介護福祉活動	15	2	10	7	5	9	18	8	16	22	11	42	165
表敬訪問	14	47	47	21	13	3	58	5	10	5	23	78	324
講演会	0	4	2	1	0	0	2	0	1	1	1	1	13
チャリティイベント	1	5	18	0	6	9	0	2	1	6	2	5	55
環境活動	0	1	1	2	4	4	3	2	5	3	4	4	33
集客・広報活動	0	6	11	13	3	62	10	3	2	4	2	1	117
その他	22	35	15	8	4	14	9	15	11	23	10	18	184
合計	136	208	232	204	227	419	310	227	206	361	275	372	3,177

■ : その活動ジャンルで最も多い

■ : その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

・最も活動が多かった6月は、「学校訪問」を多く実施した。2009年同月は42回だったが、大幅に伸びている。

・「学校訪問」は、6月に続いて10月も多かった。

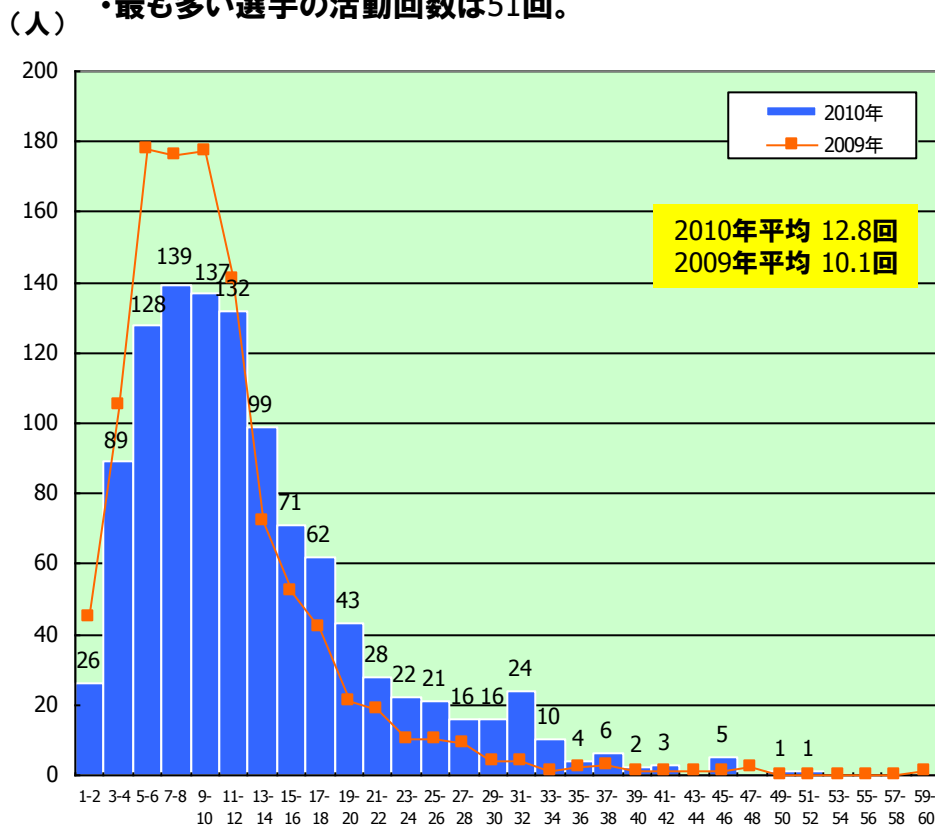
・シーズン終了後の12月は、「表敬訪問」、「ファンサービス」の他に、「サッカー教室/イベント」、「介護福祉活動」が多い。

・年間通して行われている活動は「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」、「地元イベント」、「サッカー教室/イベント」。

選手の活動

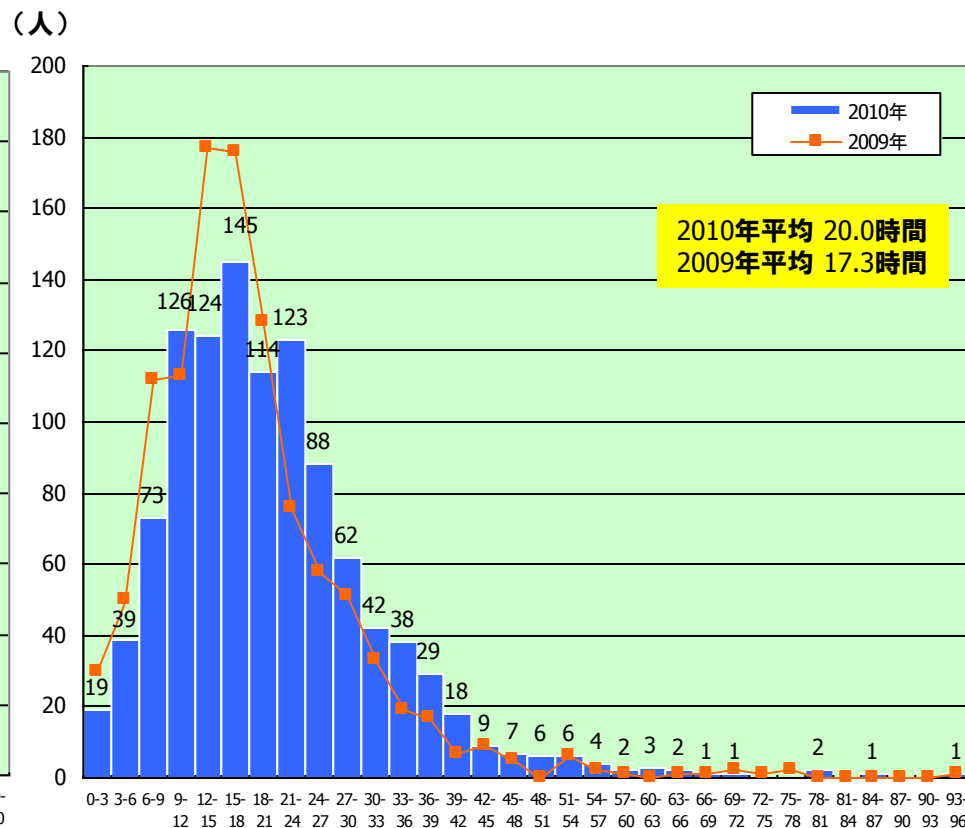
◆2010年活動回数分布（2009年比較）

- 選手ひとりの活動回数は、5回-12回が多く、約50%を占めている。
- 2009年と比較して、全体的に選手の活動回数は増加している。1-12回の活動選手数は減少し、13回以上の活動した選手数が増加している。平均は2.7回増加。
- 最も多い選手の活動回数は51回。



◆2010年活動時間分布（2009年比較）

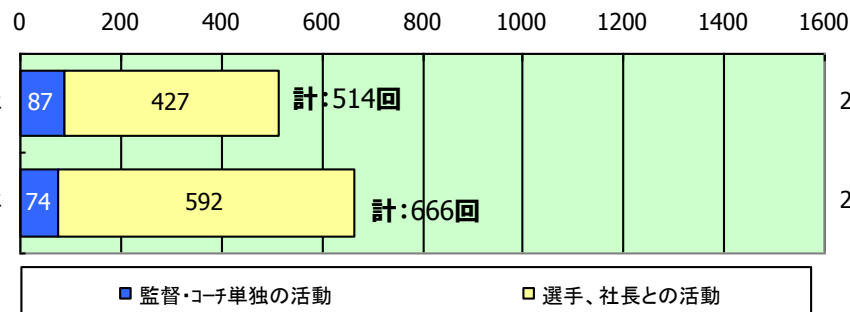
- 選手の活動時間のピークは15-18時間である。
- 活動回数分布と同じく、2009年より全体的に活動時間が増加しており、21-27時間の分布は特に伸びている。
- 最も多い選手の活動時間は、94.0時間。



監督・コーチ/社長の活動

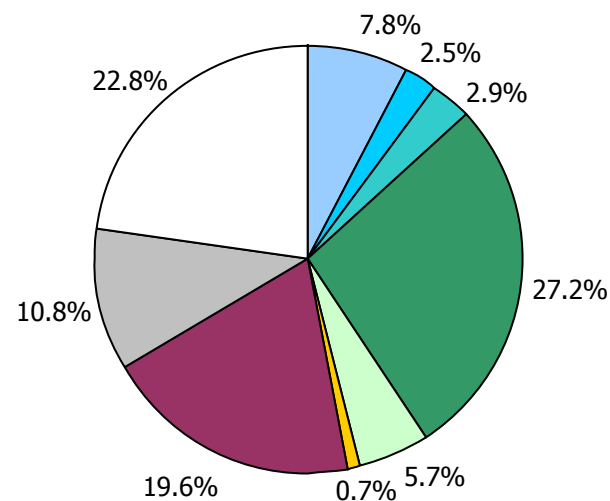
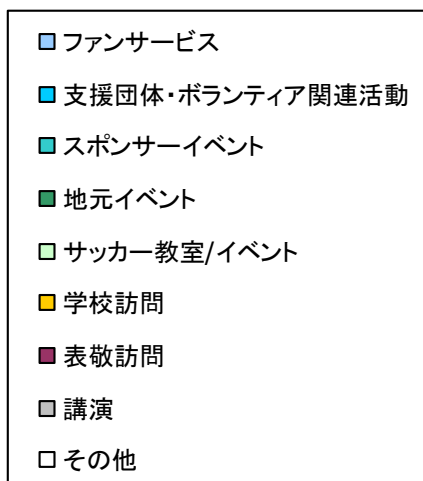
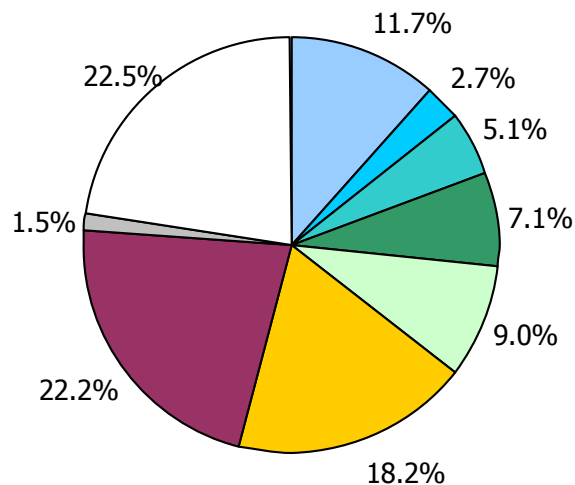
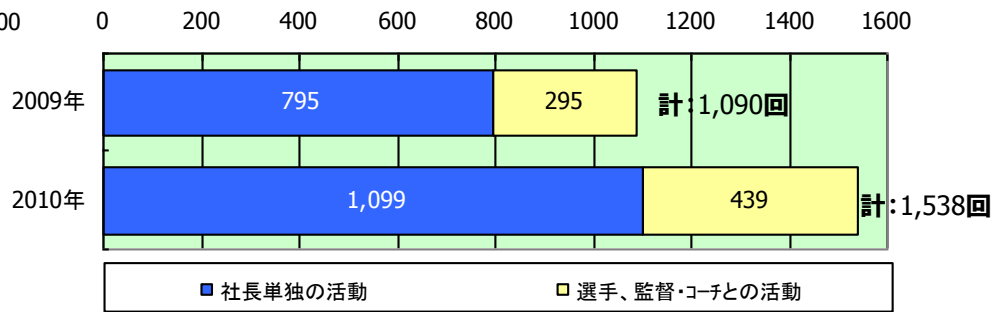
◆2010年 監督・コーチの活動

- ・監督・コーチの活動数は2009年と比べて約3割の増加。
- ・監督・コーチが単独で行動するケースは、全体の約10%。
- ・活動ジャンルで最も多いのは「表敬訪問」、次いで「学校訪問」、「ファンサービス」の順になっている。
- ・「その他」には、「集客活動」や、必勝祈願、クラブへの贈呈式などが含まれる。



◆2010年 社長の活動

- ・社長の活動数は大きく伸び、2009年比44%増。
- ・社長単独での活動が全体の7割で、この比率は2009年とほぼ同等。
- ・最も多い「地元イベント」には、地域の会議への出席のほか、新年会や交歓会等への参加も含まれる。「地元イベント」主催の「行政」や「自治会・商店街」との連携強化活動が多いことが分かる。
- ・「その他」には、監督・コーチと同じく、「集客活動」やクラブのための活動(「必勝祈願」、「クラブ激励イベント、盛り上げプロジェクト」、「商店街巡回営業活動」など)が含まれる。



クラブ別傾向分析

活動回数増減比率

※選手もしくは監督・コーチが参加した活動(社長単独の活動は除く)

・比較可能な全36クラブ中、半数以上の23クラブが2009年より活動数が増えている。

・リーグ全体での活動回数は、2009年比31.4%増。

	2010年			2009年
	2009年比	2009年差	活動実数	活動実数
全体	131.4%	760	3,177	2,417
札幌	183.3%	60	132	72
仙台	150.0%	14	42	28
山形	508.3%	98	122	24
鹿島	148.5%	16	49	33
水戸	122.7%	15	81	66
栃木	115.1%	11	84	73
草津	100.0%	0	49	49
浦和	154.5%	18	51	33
大宮	103.3%	2	63	61
千葉	219.1%	56	103	47
柏	162.2%	28	73	45
F東京	74.6%	-54	159	213
東京V	61.1%	-21	33	54
川崎F	138.9%	14	50	36
横浜FM	164.0%	32	82	50
横浜FC	178.7%	37	84	47
湘南	81.2%	-16	69	85
甲府	83.7%	-16	82	98

	2010年			2009年
	2009年比	2009年差	活動実数	活動実数
新潟	98.1%	-1	53	54
富山	244.2%	62	105	43
清水	125.7%	27	132	105
磐田	200.0%	49	98	49
名古屋	138.3%	18	65	47
岐阜	115.1%	28	214	186
京都	100.0%	0	66	66
G大阪	118.9%	24	151	127
C大阪	94.6%	-2	35	37
神戸	253.6%	86	142	56
岡山	338.9%	43	61	18
広島	75.0%	-14	42	56
徳島	100.0%	0	110	110
愛媛	125.0%	17	85	68
福岡	83.3%	-7	35	42
北九州	-	-	90	-
鳥栖	62.5%	-30	50	80
熊本	93.9%	-6	92	98
大分	234.4%	82	143	61

■:2009年比、100%より大きいスコア

クラブランキング

■活動数

2010年の選手・監督・コーチの活動回数を比較

- ①岐阜 (214回)
- ②F東京 (159回)
- ③G大阪 (151回)

■延べ選手参加人数

2010年に参加した選手の延べ数

- ①富山 (1,001人)
- ②岐阜 (858人)
- ③G大阪 (728人)

■選手平均活動時間

選手1人当たりの年間平均活動時間

- ①岐阜 (48.9時間)
- ②富山 (34.9時間)
- ③札幌 (32.9時間)

■上位選手の平均出場時間

活動時間上位10位までの選手の1試合平均出場時間

- ①横浜FM (52.0分)
- ②草津 (42.4分)
- ③浦和 (39.8分)

■1つの活動の平均起用選手数

延べ選手参加人数を選手が参加した活動数で割ったもの

- ①富山 (10.0人)
- ②熊本 (8.8人)
- ③横浜FM (8.0人)

■監督・コーチ／社長の活動回数

監督・コーチ

社長

- ①G大阪 (72回) ①大宮 (226回)
- ②熊本 (53回) ②山形 (166回)
- ③富山 (50回) ③川崎F (120回)

■クラブ主催/その他主催比率

クラブ主催

その他主催

- ①横浜FC (92.9%) ①東京V (69.7%)
- ②神戸 (90.1%) ②大分 (67.8%)
- ③磐田 (88.8%) ③岡山 (62.3%)

活動ジャンル傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

サイン会・トークショー

湘南、甲府、新潟、徳島

ファンサービス

仙台、鹿島、水戸、浦和、大宮、京都

学校訪問

栃木、千葉、柏、横浜FM、富山、磐田、名古屋
G大阪、神戸、広島、愛媛

サッカー教室/イベント

草津、C大阪、岡山、福岡、北九州、鳥栖、熊本

上記のジャンル以外

地元イベント

東京V、大分

集客・広報活動

F東京

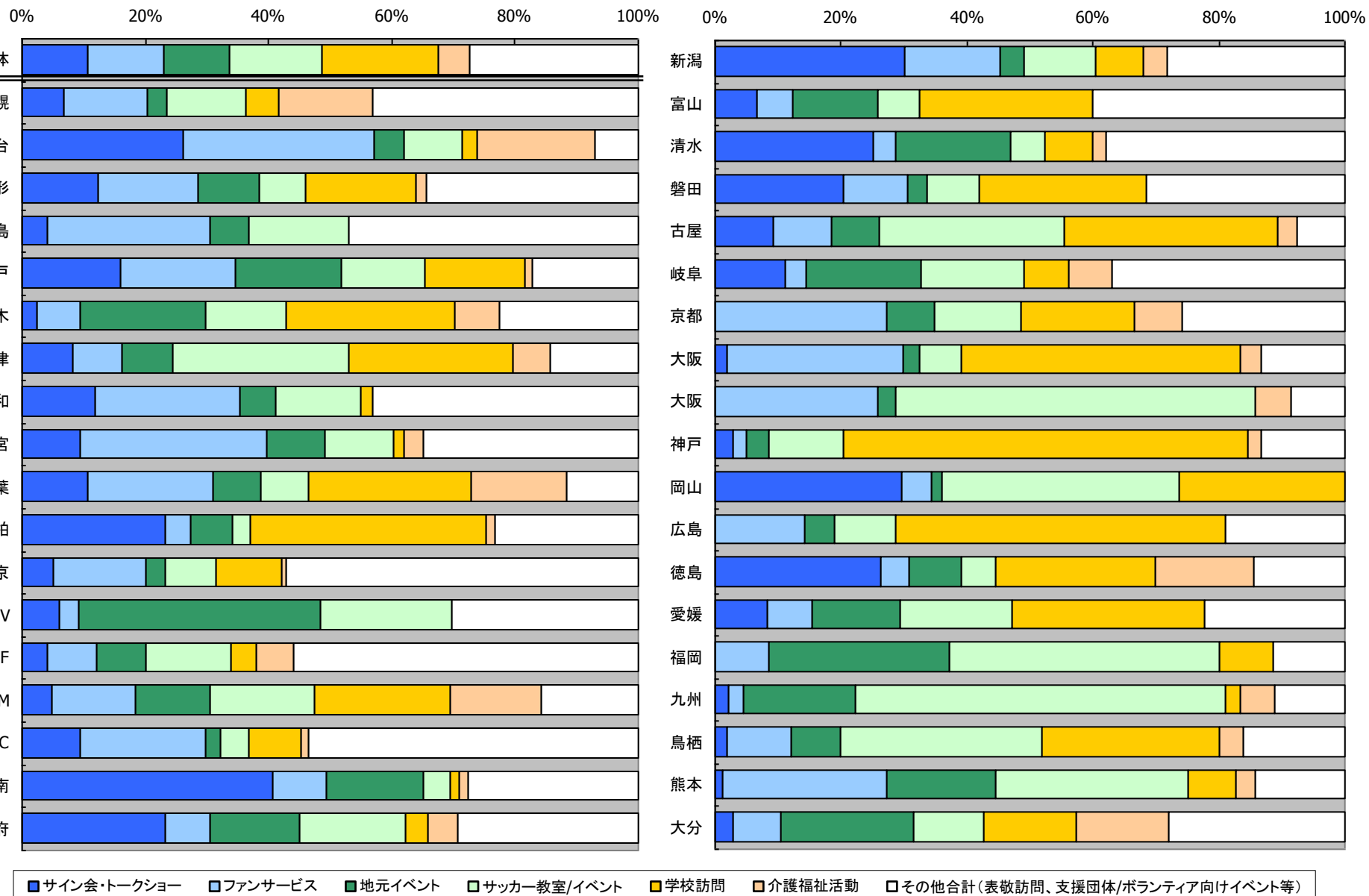
表敬訪問

札幌、横浜FC、清水、岐阜

その他

山形、川崎F

活動ジャンル傾向(2)(データ)



活動対象傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

ファン/サポーター

仙台、山形、鹿島、水戸、浦和、大宮、柏(※)、
F東京、湘南、甲府、新潟、清水

スポンサー/株主

札幌、横浜FC

地域住民

東京V、川崎F

小学生以下

栃木、草津、千葉、柏(※)、横浜FM、磐田、名古屋、
岐阜、京都、G大阪、C大阪、神戸、岡山、広島、徳島、
愛媛、福岡、北九州、鳥栖、熊本、大分

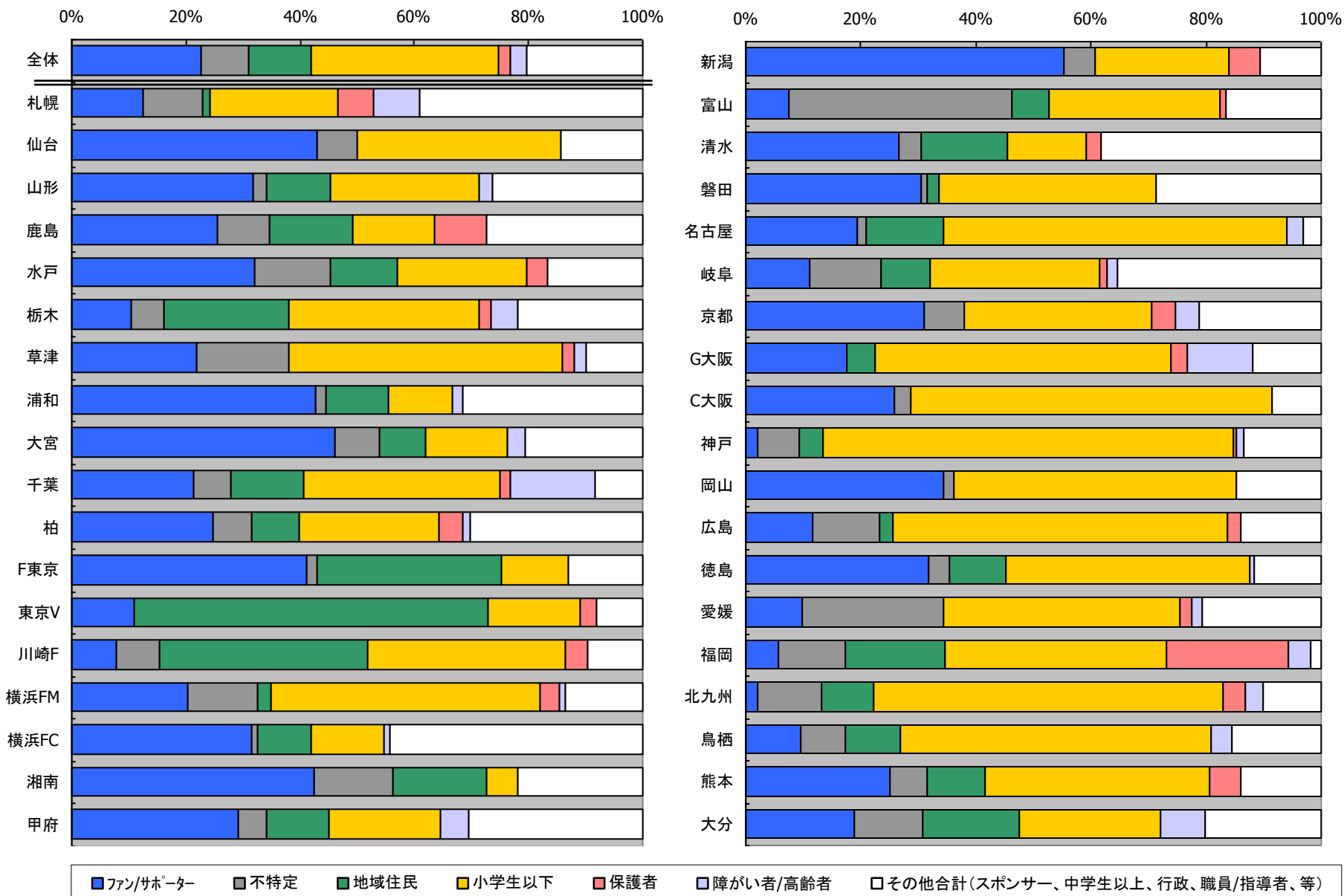
上記の対象以外

不特定

富山

※最も多い活動が複数あるクラブ: 柏

活動対象傾向(2)(データ)



活動時間の多い選手(上位3位)

札幌		仙台		山形		鹿島		水戸		栃木		草津		浦和	
横野 純貴	65.0	細川 淳矢	14.5	中村 隼	37.5	笠井 健太	36.0	小野 博信	41.5	杉本 真	61.0	佐田 聡太郎	26.5	鈴木 啓太	29.0
岡本 賢明	57.0	島川 俊郎	14.5	山田 拓巳	36.5	遠藤 康	35.0	鶴野 太貴	38.0	宇佐美 宏和	60.0	北 一真	25.5	宇賀神 友弥	27.5
古田 寛幸	49.0	渡辺 広大	14.0	伊東 俊	35.5	川島 大地	32.0	星野 圭佑	35.0	小野寺 達也	52.0	松下 裕樹	25.5	山岸 範宏	26.0
										橋本 真人	52.0				

大宮		千葉		柏		F東京		東京V		川崎F		横浜FM		横浜FC	
木原 正和	21.5	戸島 章	55.0	北嶋 秀朗	21.5	石川 直宏	28.5	和田 拓也	17.0	小林 悠	24.0	渡邊 千真	43.5	久富 賢	24.0
清水 慶記	19.5	佐藤 慎之介	54.0	川浪 吾郎	19.5	高橋 秀人	28.5	海老澤 宏樹	15.0	楠神 順平	24.0	兵藤 慎剛	43.0	大久保 択生	24.0
新井 涼平	19.5	伊藤 大介	46.5	茨田 陽生	18.5	幸野 志有人	28.0	井上 平	13.0	小宮山 尊信	23.5	波戸 康広	42.0	橋村 祐太	24.0
														西田 剛	24.0

湘南		甲府		新潟		富山		清水		磐田		名古屋		岐阜	
馬場 賢治	15.0	山本 英臣	32.0	奥山 武宰士	16.5	内藤 圭佑	46.0	兵働 昭弘	20.0	竹重 安希彦	41.0	花井 聖	29.5	重成 俊弥	79.8
松浦 勇武	14.0	柏 好文	32.0	西 大伍	15.5	森 泰次郎	42.0	鍋田 亜人夢	19.0	黄 誠秀	35.0	磯村 亮太	28.5	富成 慎司	78.8
三平 和司	14.0	小池 悠貴	30.5	東口 順昭	15.5	吉井 直人	41.0	平岡 康裕	19.0	川口 能活	31.5	松尾 元太	26.0	野本 泰崇	71.5
		唐澤 大夢	30.5					岩下 敬輔	19.0			福島 新太	26.0		

京都		G大阪		C大阪		神戸		岡山		広島		徳島		愛媛	
中谷 勇介	26.5	河田 晃兵	29.1	扇原 貴宏	25.0	紀氏 隆秀	41.0	李 彰剛	48.5	李 忠成	26.0	岡 卓磨	35.5	吉川 健太	33.0
片岡 洋介	21.0	安田 晃大	27.7	荻野 賢次郎	22.5	森岡 亮太	35.0	椎名 一馬	40.5	石川 大徳	25.0	石川 雅博	35.0	岡本 剛史	32.5
渡邊 大剛	19.0	内田 達也	27.5	丸橋 祐介	21.0	有田 光希	34.0	新中 剛史	31.0	下田 崇	25.0	阿部 一樹	25.5	越智 亮介	32.5
										森脇 良太	25.0				

福岡		北九州		鳥栖		熊本		大分	
宮路 洋輔	31.0	中嶋 雄大	94.0	赤星 拓	30.0	松岡 康暢	36.5	石田 良輔	53.0
山口 和樹	30.0	片野 寛理	84.0	池田 圭	23.0	岡村 和哉	35.5	小手川 宏基	40.0
笠川 永太	29.0	船津 佑也	56.0	藤田 直之	22.0	山内 祐一	35.5	井上 裕大	39.0

:1試合当たり平均出場時間60分以上の選手
 :1試合当たり平均出場時間10分未満の選手